

楊元慶CEOは、アップルは中国で高所得者層だけに目を向け、幅広い中低所得者層のニーズを重視していないと指摘。これが他社に発展余地を残しているという。「アップル製品は高級で、値段が高い。二級、三級都市で500ドル以上する商品を受け入れられる人は非常に少ない。アップルに値下げさせたいという意味ではなく、ローエンド市場にまだ大きな潜在力があることを言いたい」と楊元慶CEO。アップルのiPadが世界の 안드로이드 pc市場を独占していることについて、楊元慶CEOは、 안드로이드 pc市場もパソコン市場と同じ発展の道を歩むとの考えを示した。「パソコンが発売されたばかりのころ、IBMが市場をほぼ独占していた。その後多くのメーカーが登場し、市場を分け合うようになった」としたうえで、「안드로이드 pcも多様化の問題に直面している。市場ニーズが多様化しているため、さまざまな製品が出てくるのは避けられない」と付け加えた。